

さくら第460号

平成30年4月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬重雄
春江町境 17-7: TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

あどじが
できぬんたよ
なま
いまのことは
いましができぬ
みつを

『自分のできる努力を積み重ねる』

3月15日(木)春江小学校平成29年度卒業証書授与式が午前9時から行われ100名の児童がめでたく卒業。いよいよ4月からは生徒として中学校の門をくぐります。

見守る保護者の方々も過ぎ去りし6年間に思いをはせ感慨深く壇上のスクリーンに映し出される我が子の成長に見入っていました。

出蔵直美校長先生が「はなむけの言葉」として『自分のできる努力を積み重ねていこう』と述べられました。わかりやすい言葉でていねいに話されたので児童も保護者もよく理解できたことでしょう。

人は千差万別、誰ひとりとして同じ人はいません。顔かたち、姿、考え方や行動、趣味、趣向、興味や関心事などどれ一つとして同じ人はいません。だから、みな違っていて不思議でなく当然のことでしょう。

さて、自分のできる努力となればそれぞれ色々。人と比べない自分だけの努力だからいろいろなことができます。

積み重ねることに意義があります。毎日休まず続けられる事は何ですか。たとえば、毎朝きまった時間に起きることを努力目標にする人がいます。家の人に何度も起こされるがパッと目を覚ませない人にとっては大変でしょう。

前の日にランドセルやカバンの中を整理し、忘れ物をしないようチェックしておこう。エンピツはきれいに削っておくことに努力しようという

人もいるでしょう。

スマートホンを使う人は小学生で23.9%、中学生は72.6%、高校生では95.3%の人が持っているといえます。このなかでスマホ依存症という人がますます増えてきました。

スマホを片時もはなせず朝夕の区別なく使う人は視力はむろん、脳にも異常をきたすことになり、ものごとに集中できず、がまんする気持ちもなくなるなど害が出ます。そこで、自分はスマホ使用時間を1時間へらすための努力をしようという人もいます。

授業をしっかりと聞くことに努力しよう、苦手な勉強にも取り組む努力や、スポーツでがんばろうなどいろいろな努力を自分なりに積み重ねて行きましょう。さて、あなたの努力目標は何。

この「はなむけの言葉」を聴きながら思いだしたことがあります。

イギリスの物理学者、数学者、天文学者、哲学者でもあるアイザック・ニュートンは、1665年にリンゴが木から落ちることを見て「万有引力」を発見したと言われていいます。

このニュートンが『今日なしうる事だけに全力をつくせ しかれば明日は一段の進歩あらん』と述べています。

朝から夜まで毎日いろいろなことをして過ごします。学校での勉強や宿題。部活動やスポーツ少年団などでの練習。友達との遊びなど仲間と過ごすことがあれば一人だけでじっくり考え、行動するなど様々な時間を過ごします。

自分ながら今日もがんばった。とその日をのんびりしながらくつろぐのもいいでしょう。でも、もう一度確かめてみましょう。明日への準備はきちんとできていますか。もう一步見直しましょう。忘れていないことはいませんか。

念には念を入れよといえます。今日という日は明日をいかによくするかという日です。今日の日を無意味に過ごせばそれは明日に影響します。あれこれ欲張らずとも今日のうちにこれだけはやっておこうと元気いっぱい、今日でできることだけに力を出し切ろう。